



コンシェルジュ便り

【お問い合わせ】

2025.11月号

福祉・子育て課 子育て未来グループ ☎42-2506

北海道では雪が降った地域もあり冬の訪れを感じますが、暦上では立冬の前日の11月7日までは秋。秋と言えば「読書の秋」。そして、これからの寒い冬も暖かいおうちの中でお子さんと過ごす時間が多くなると思います。そんなおうち時間におすすめなのが絵本の読み聞かせです。

赤ちゃん

生後7ヶ月頃から絵本を楽しむことができます。赤ちゃんにとって「絵本」はお母さんやお父さんと一緒に遊ぶおもちゃのようなもの。無理にはじめから終わりまで読み聞かせようとしたり、赤ちゃんが集中して見てくれないからと焦ったりしなくて大丈夫です。



元永定正 作



平山和子 作



はやしあきこ 作



年齢別 オススメ絵本



絵本の読み聞かせの効果

- 1 親子の豊かな心のふれあいができる
- 2 子どもの心が豊かになる
- 3 子どもの言葉が豊かに育つ
- 4 人の話を聞く力、ものを見る眼が育つ
- 5 読書の習慣がつく

お母さんやお父さんの優しい声、心のこもった声をたっぷり聞かせてあげること、抱っこや添い寝をして読んでもらうことで子どもの心は「安心」でいっぱいになります。



1歳ごろ

1歳を過ぎた頃から言葉を具体的なイメージで心に描くことが出来るようになり、少しずつお話の流れを理解し、起承転結のある「ものがたり絵本」を楽しむことが出来るようになってきます。



林明子 作



かんざわとしこ 文
やぎゅうげんいちろう 絵



わたなべしげお 文
おおともやすお 絵



せなけいこ 作



A・トルストイ 再話
内田莉沙子 訳
佐藤忠良 画

2~3歳ごろ

日常の生活体験が少しずつ積み重なり、お友達など他者への関心が強くなってきます。自分と似ているものを喜んだり、絵本の登場人物の真似をしてみたり、自分から表現することにも興味を持ちだします。